

INTERVIEW



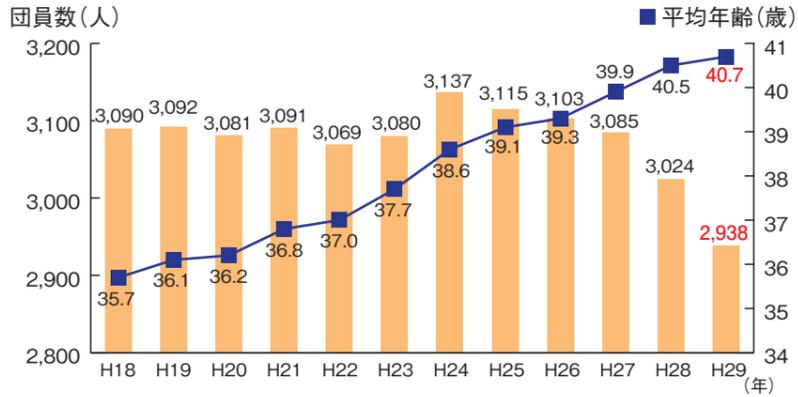
天草市消防団
いほら こうすけ
猪原康祐 団長

1度は入団を断り、2年後に再度誘われて、仕方なく入ったというのが正直なところ。それから37年。今の自分があるのは消防団に入ったからだと思っています。

時代が進み、社会情勢や人、環境が変化しても、火災や災害などから地域や人を守るのは最終的には自分自身であり地域にいる人なんです。

誰かが担わなければ地域は守れない。消防団員は、そんな思いで“いざ”に備えて日々訓練をしています。

◆団員数と平均年齢



女性団員も活躍中

■女性消防隊

平成19年から女性隊員を採用し、現在12人が活動しています。紙芝居を使って子どもたちに火

害の危険を伝えています。その平均年齢は40・7歳で平成18年の合併時より5歳上昇しました。普段は、それぞれが自分の仕事に就いており、また職場が自宅から離れている団員も多く、日中の緊急出動が難しくなっています。

日中の災害現場で不足する消防力を補完するため、市では平成24年から「機能別団員」という制度を設け、151人の元消防団員にも活動いただいています。

■女性消防部

御所浦方面隊には女性だけの部隊があります。平成22年に発足し現在25人が在籍しています。火災が発生したときには出動し後方支援を行うなど、漁や島外勤務などで不在となる男性に代わって地域を守っています。

の用心を呼びかけたり、一人暮らしの高齢者宅を訪問しての防火啓発が主な活動です。ほかにも研修や訓練活動もあり、操法大会へも出場しています。



▲紙芝居で防火を呼びかける隊員



我がまちの
消防団

今は、空気が乾燥して火災が起こりやすい季節です。火災を防ぐためには、一人ひとりの注意はもとより地域全体での取り組みも大切です。そんなとき地域の消防・防災のリーダーとなるのが消防団。今号では、住民の安心と安全を守る「消防団」を紹介します。

消防団って？

消防団は、江戸時代の火消がルーツと言われています。常勤の消防職員が勤務する「消防署」とは異なり、本業を別に持つ一般市民で組織されます。火災や災害が発生すると自宅や職場からいち早く現場へ駆けつけ、消火活動や救助活動を行います。

市には、旧市町単位を管轄とする10の方面隊に、53分団195の部が組織され、部ごとに消防ポンプ格納庫(詰所)があります。

広域な本市は、消防署などからの距離が遠い地区も存在します。そんなときに、消防団員による初期活動が被害の拡大防止につながります。

消防団は、地域の消防・防災のリーダーとして、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

消防団員が足りない…

現在の団員数は2,938人ですが、平成25年から減少を続けて

**消防団の
主な活動内容**

1 消火活動
火災が起きると、消防自動車に乗り、または直接現場に駆けつけ、消火活動を行います。鎮火後も再び発火しないように警戒を続けます。



2 救助活動
地震や水害、土砂崩れなどの災害が発生すると消防や警察・地域などと協力して救助・救出・警戒・避難誘導などを行います。



3 水防活動
台風や大雨によって河川等の氾濫や浸水による被害が発生しないよう、巡回や土の積みなどの防災活動を行います。



4 防火・防災啓発活動
春と秋の火災予防週間の広報活動などのほか、年末には管轄地域を巡回して地域住民に防火を呼びかけています。



5 各種訓練への参加
市や地域が行う各種防災訓練に参加したり、規律訓練や資器材の点検、操作訓練などを行い、いざ災害が発生したときのことを想定して、日ごろから訓練に励んでいます。

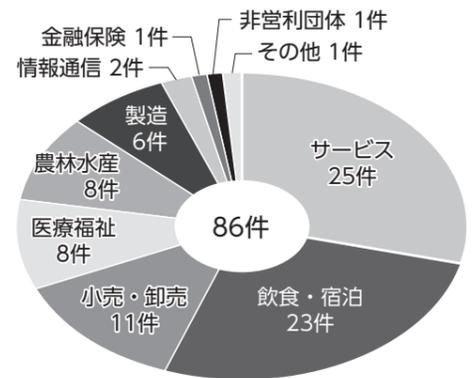
Ama-biZ アマビズ Ama-biZ 通信

「Ama-biZ」(天草市起業創業・中小企業支援センター)の活動状況などをお知らせします。

所在地：中央新町3番17号(本渡中央銀天街アーケード内)
開所日：月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 9:00～17:00

相談予約・問い合わせ ☎24-5555

◆業種別創業累計(H27.4～H29.11)



平成27年4月にアマビズができてから、相談などを通じて起業まで至った人が86人となりました。起業した職種は左のグラフのとおり、サービス系(福祉系、IT関係、車両関連など多岐な職種)のほか、飲食・宿泊、小売・卸売や農林水産物の加工品製造などとなっています。起業者は男性61人、女性25人、年齢別では、40代が32人と最も多く、30代31人、50代13人と続いています。

天草での起業が増えていきます！

天草宝島起業塾で夢の実現を

今年度も京都大学経営管理大学院と市との共催で、天草宝島起業塾を開催します。同大学院の小林教授・若林教授の講義から、ビジネスモデルキャンバスを使って起業への心構えを学びます。これまで5回実施してきましたが、総勢85人がこの起業塾で学び、夢の実現にチャレンジしています。

- ★何をしたらいいかわからない人↓種を探しましょう！
 - ★何から始めたらいいかわからない人↓打つ手を見つけてみましょう！
 - ★うまいやり方がわからない人↓一緒に考えましょう！
- いつかは起業したいと考えている人、天草のために何かしたいと思っている人は、この機会にアイデアを形にしてみませんか。

第6回天草宝島起業塾 参加者募集！

■講義内容(予定)

- 1月27日⑤・28日⑥：本渡商工会議所
 - 講義：起業への心構え、ビジネスのしくみ
 - ワークショップによるビジネスプラン作成
- 2月17日⑤・18日⑥：本渡商工会議所
 - 講義とワークショップによるビジネスプラン作成
- 3月10日⑤・11日⑥：天草宝島国際交流会館ポルト
 - 講義とビジネスプランのブラッシュアップ
 - ビジネスプラン発表会

※土曜日は午前10時30分から午後5時まで、日曜日は午前9時から午後5時まで。

■申し込み方法

1月19日⑤までに申込書(アマビズまたは市産業政策課に備え付け)をアマビズへ提出してください(FAX、メール可)。申込書は、市およびアマビズホームページにも掲載。

【問い合わせ先】Ama-biZ ☎245555・FAX248655・メールアドレス info@ama-biz.jp



▲昨年のような

- 入団資格** 市内在住で、18歳以上の健康な人(男女問いません)。
身分 非常勤特別職の地方公務員。
- ・消火等の活動に対しての手当てや報酬が支給されます。
 - ・活動に必要な活動服などが貸与されます。
 - ・活動(公務)によりケガをした場合は、補償があります。
 - ・一定期間団員として活動すると、退職報奨金が支給されます。

入団方法 電話で本庁・防災危機管理課または各支所へご連絡ください。

入団日 随時(毎月1日)。

【主な行事】

- ・出初式(1月第3日曜日)
- ・新入団員、新幹部の訓練(5月頃)
- ・小型ポンプ操法大会(6月・隔年)
- ・夏季、冬季訓練
- ・年末特別警戒(12月28～30日)



企業・事業所も協力をお願いします ～消防団協力事業所制度～

消防団の活動に積極的に協力している事業所を「消防団協力事業所」として認定しています。

- 【認定の基準】
- ・従業員が消防団に入団している。
 - ・災害時に資機材を提供する。 など
- ※認定された事業所は、市の入札参加者資格審査格付基準で加点されます。



住民の安全・安心を守る一番身近な存在です。あなたの入団を待っています。あなたも、消防団員として地域を守る活動に参加しませんか。消防団は、地域や

まちを守る

消防団員募集中!!



▲昨年の出初式

消防出初式

市消防団員約1,000人が、部隊行進や通常点検、放水競技などを行い、日ごろの訓練の成果を披露します。

消防団員の雄姿を、ぜひご覧ください。

- ▶とき 1月21日⑥午前9時～
- ▶ところ 本渡運動公園陸上競技場

※雨天時は、天草市民センター体育館

【問い合わせ先】本庁・防災危機管理課☎241111